

## 第73回秋山スキー大会が盛大に開催

山形森林管理署 最上支署

大勢の参加者



平成26年3月2日（日）、真室川町秋山クロスカントリーコースにおいて、秋山スキー大会が開催されました。この大会は昭和11年に第1回が開催され今回で73回目となりますが、クロスカントリースキーが冬季業務において必須だったことや、地域でも盛んとなっていたことなどから、当時の真室川営林署長（第1回大会会長：後に林野庁

長官や参議院議員になられた柴田栄氏）が発案・主催し第35回まで実施、その後真室川町が運営を引継ぎ、現在真室川町長が大会会長となって実施している歴史あるスキー競技大会です。支署管内にある真室川高校、金山高校や新庄北高校は例年インターハイ等に出場する強豪校、オリンピックにも出場した青木富美子（真室川高校OG）さんは今でも現役で国体に出場するなど、小学生時代からこの大会に出場し強豪選手となって活躍しています。



天気は晴れ、午前8時半より開会式が行われ、山形県内在住の児童・生徒の選手総勢200名、リレーチーム21団体が、個人競技で男女別・学年別で小学3年生から一般までの12部、リレー競技で小学校男女別にわかれ実施、高校の卒業式と重なり例年より少ない参加者でしたが、熱戦を繰り広げました。



走り終わった後の力を出し切った表情や悔いの残る表情を見て、ソチオリンピックの日本選手の表情と重なり、8年後いや12年後の将来のオリンピック選手が誕生する可能性を期待しながら観戦したところです。

選手の皆さんお疲れ様でした。